

## 平成30年 第7回帯広市教育委員会会議録

1. 平成30年4月23日 月曜日 16時 ～ 17時

帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 議案第 17 号 帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画について  
【当日配布】

日程第 3 議案第 18 号 帯広市社会教育委員の解職について

議案第 19 号 帯広市社会教育委員の委嘱について

日程第 4 その他 (1) 平成30年度 確かな学力の向上・定着に向けて

＝学力の向上・定着に向けた基本的な考え方＝について

その他 (2) 平成30年度 子供達の健やかな体の育成に向けて

＝体力・運動能力等の向上に向けた基本的な考え方＝について

その他 (3) 今後の事業予定について

その他 (4) 寄附受納について

その他

嶋崎教育長

ただいまから、平成30年第7回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、藤澤委員及び佐々木委員を指名いたします。

日程第2、議案第17号、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案17号、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画についてご説明いたします。議案書は本日お配りしております1ページをご覧ください。本案は帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画を決定しようとするものであります。今回の計画決定の提案に至る経過などにつきましてご説明いたします。前期対象校に大空中学校を選定いたしました計画案を本年2月6日の第2回教育委員会会議にご報告し、2月から4月にかけて大空中学校校区の保護者や地域住民との意見交換会を行ったところであります。意見交換会における主な意見としましては、71ページにまとめてありますが、学校規模の小規模化の影響を危惧する意見をはじめ、地域の方々からは保護者の意見が一番大切である、子どもを第一に考えるべきであるとの意見のほか、小中一貫教育や学校施設の老朽化対策、他の公共施設との複合化に関する意見などが出されたところがございます。また一方で、教員の目が届きやすい小規模校でも良いのではないかという意見もございましたが、大空中学校での適正規模等の取り組みを進めることに対して、一定のご理解は得られたものと判断したところがございます。このたびの計画につきましては、計画案からの変更はございませんが、27ページからの資料2において、昨年12月27日の第17回教育委員会会議において決定していただきました、帯広市小・中学校通学区域規則の一部改正による通学区域の見直しによります、緑丘小学校通学区域で、第八中学校の通学区域に属する地域の第五中学校に編入、栄小学校通学区域で、第二中学校の通学区域に属する地域の第一中学校への編入について、今年の4月1日から施行いたしましたことから、それに伴います通学区域図や学校と町内会の関係表などの修正を行っております。この他、66ページの資料3において、計画原案及び計画案に関する意見交換会等の開催状況や計画案に関する意見交換会で出された主な意見などを追加したところがございます。本日の教育委員会会議で決定をいただければ、庁内手続きを経て、本計画を5月23日の

市議会建設文教委員会に理事者報告をしてまいります。その後、16ページのフロー図にもありますとおり、⑥の大空中学校区の保護者や地域住民の代表、学校関係者などで構成いたします地域検討委員会を設置し、基本方針でお示ししております適正規模の確保等の取り組み手法や地域と学校の係わり方などの視点からご協議いただき、意見書を提出していただきます。いただいた意見書を勘案し実施計画を策定し、取り組みを進めてまいります。以上ご審議いただきますようお願いいたします。

嶋崎教育長  
藤澤 委員

これから質疑に入ります。

意見交換会の開催状況について、4月15日大空中学校、21日大空小学校の参加者数は保護者の方だけですか。

広瀬 部長

4月15日、21日につきましては、大空中、大空小でPTA総会がございましたので、その際にお邪魔しまして、意見交換を行ったところで、学校関係者もいましたが、保護者のみで地域の方はいらっしゃいませんでした。

藤澤 委員  
広瀬 部長

何割くらいの保護者の方が出席したのでしょうか。

大空中学校では、このうち保護者が60数名、185名の生徒がいらっしゃいますので、約3分の1。大空小学校では、児童300名中、およそ100名の保護者の方の出席という状況でございました。

藤澤 委員  
広瀬 部長  
藤澤 委員  
塩野谷委員

発言は多くありましたか。

発言はそれほどございませんでした。

わかりました。

最後のページを見ますと、意見交換会ではいろいろな意見が出されています。学校もその他の公共施設も老朽化しているということで、小中一貫教育に向けて、新しく学校を建てるのか、あるいは大規模改修が発生するのかということ。ここに書かれているように、児童保育センターや福祉施設が併設される学校を地域コミュニティの拠点として利用することは、可能なかどうか教えていただきたいと思います。

広瀬 部長

学校施設と他の公共施設の関係でございますが、帯広市で策定しております、公共施設マネジメントの考え方では、複合化ということも検討していく方向性にあります。ただ、学校の改築や長寿命化をする時に、スペース的な問題や学校本来の役割であります教育活動に支障をきたすことがないように十分考慮して、検討委員会の中で協議していくことになろうかと思っております。

塩野谷委員  
広瀬 部長

考慮しながら進めていくということですか。

進めていくというよりも、現実的にできるのかということもありますし、何でもかんでも学校と一緒にというわけにもいきませんので、十分考慮しながら検討していく方向にありたいと思います。

嶋崎教育長 現在、大空小学校の中に児童保育センターがもう既に入っています。今度もどういう形になるかは別として、前提として皆さんのお考えの中にあるのではないかと思います。

塩野谷委員 わかりました。

田中 委員 地域検討委員会を設置ということで、一番大きな議論の場になると思います。具体的なメンバー構成等々の見通しについては、どこかに書かれていたような気がします、確認させてもらいたいと思います。

広瀬 部長 メンバー構成につきましては、保護者の代表の方、地域の代表の方、学校関係者などで構成する記載はしておりますが、メンバー等の人選については今後ということになります。

田中 委員 そこで活発な議論をしていただき、最終的な意見をそこで出してくるという理解でよろしいですか。

広瀬 部長 地域検討委員会で協議していただいて、大空の学校の在り方や考え方について意見書として出していただき、それを受けて教育委員会として、実施計画を作り進めていくことになろうかと思います。

田中 委員 つまりこれが骨格になって出来上がるという理解でよろしいですね。

広瀬 部長 はい。

嶋崎教育長 他になれば、質疑を終結します。  
お諮りいたします。

各 委 員 議案第17号、帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画  
嶋崎教育長 については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員 異議なし。

嶋崎教育長 ご異議なしと認め、議案第17号は決定されました。

日程第3、議案第18号、帯広市社会教育委員の解職について外1件を一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

草森 部長 議案第18号、帯広市社会教育委員の解職について、併せて議案第19号、帯広市社会教育委員の委嘱についてを一括してご説明いたします。はじめに、議案第18号、帯広市社会教育委員の解職については、これまで社会教育委員に委嘱しておりました杉本光瞬氏、西保俊太郎氏より、本年3月31日付で委員を辞任したい旨の申し出がありましたことから、解職しようとするものであります。次に議案第19号、帯広市社会教育委員の委嘱については、委員の解職に伴い、後任委員として、池下栄里子氏、堂山貴也氏を委嘱しようとするものです。委嘱期間につきましては、帯広市社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例第3条に基づき、前任者の残任期間である平成31年7月31日までとなります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

嶋崎教育長  
各 委 員  
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第18号、帯広市社会教育委員の解職について外1件については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第18号外1件は決定されました。

日程第4、その他に入ります。

その他(1)平成30年度確かな学力の向上・定着に向けて、学力の向上・定着に向けた基本的な考え方についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村松 部長

その他(1)と(2)の考え方につきましては、同一のもので、併せてご説明してもよろしいでしょうか。

皆さんよろしいですか。

嶋崎教育長  
各 委 員  
嶋崎教育長  
村松 部長

異議なし。

それでは、(1)と(2)についてまとめて説明をお願いします。

ありがとうございます。平成30年度の学力の向上・定着に向けた基本的な考え方及び体力・運動能力等の向上に向けた基本的な考え方についてご説明させていただきます。議案書7ページをお開きください。はじめにご説明申し上げます2つの基本的な考え方につきましては、とりわけ本市の全国学力・学習状況調査や体力・運動能力調査の分析結果に基づいて、より具体的に教育委員会や学校が取り組む方向性を整理し、各学校の具体的な取り組みに資するものとして示しているものでございます。各学校では過日、本委員会でお示しいたしました、学校教育指導の重点を総論としながら、学力並びに体力の向上に関する内容に特化したこの基本的な考え方を各論として押さえ、具体的な方針を定め、年間を通して重点的に対策に取り組む際の指針として示しているものでございます。今年度も年度初めの校長会、教頭会を通じて基本的な考え方について各学校にお示ししたものでございます。各学校で周知していただきましたが、特段のご意見はございませんでしたので、本日、教育委員の皆様にもご報告させていただき、近くホームページ等で広く公表する予定でございます。まず、学力向上についてでございますが、児童生徒一人一人のよさを引き出すという視点を第一に、引き続き、学習意欲や自己肯定感等を重視して、学校と家庭が連携しながら、生きる力の知の側面である確かな学力をしっかりと身に付けさせることの必要性について記載してございます。取り組みとしましては、方策の柱として、今年度で最終年度の3年目となる北海道教育委員会

の学校力向上に関する総合実践事業の実践指定校として、啓西小が指定を受けているほか、西陵中学校エリアの小中学校が近隣実践校として指定を受けており、成果や課題を全市的に広げてまいります。また、教育委員会の取り組みとしましては、授業改善に向けた具体的な取り組みが各学校で進められるように、年3回の学校教育指導訪問に加えまして、新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりに資する校内研修への要請を受けながら、ニーズに応じていく取り組みを行ってまいります。また、教育研究所のクラウド型サーバーシステムを活用して教材を提供していくこととなります。学校に期待することでは、日常的な校内研修の充実や学級経営の充実、さらに家庭と連携した取り組みの充実について記載しております。次に体力向上についてであります。議案書11ページでございます。過日、本委員会でご報告させていただいたことを受け、現在、市長説明、議会等への説明の準備段階に入っているところであり、近日中の公開を予定しております。体力向上の考え方では、体力が人間にとって活動の源であり、児童生徒の発達や成長を支える基本的な要素であることなどを改めて強調し、帯広市独自にすべての学年で新体力テストを活用した調査を実施するほか、全学年・全種目の実施に向けた段階を追った取り組みを行ってまいります。また、3年目となります若葉小学校に配置をされております体育専科教員の活用など、体育科の授業改善や家庭との連携について記載させていただいております。取り分け学校の取り組みでは、1校1実践の取り組みの充実を図るよう重ねて記載をさせていただいております。なお、体力向上の部分について1部重複している文章等もございますことから、今後、文言等を再精査した後、ホームページに掲載し、保護者や市民の皆様公表してまいります。以上です。

嶋崎教育長  
佐々木委員

これから質疑に入ります。

8ページの学力向上に関する総合実践事業について、実践指定校と近隣実践校とありますが、もう少し具体的にどういう取り組みなのか教えていただけますか。

黒島 室長

学校力向上に関する総合実践事業につきましては、北海道教育委員会の事業でございます。帯広では啓西小学校が中核学校の実践指定校の指定を受け、なおかつ、小中連携の取り組みに資するものとして、近隣校の広陽小学校と西陵中学校と日常的な授業交流や研究実践の交流を進める中で、総合的、組織的に学力向上の取り組みを進め、全市に還元をしていくということでございます。

佐々木委員

啓西小学校を中心とした学校が公開研究授業など他より多く設けたり、勉強会をしたりするということですか。

黒島 室長

学力向上の指定校につきましては、加配等の教員の配置を受け、研究実践の公開をするというミッションがございます。複数回の授

業交流、公開をする中で、全市的、全道的な取り組み状況について交流していき、向上を図っていく取り組みを進めております。

佐々木委員  
藤澤 委員

ありがとうございます。

2点ほど質問させてください。学校に期待すること、家庭との連携で、学力と体力の両方で載っている、早ね・早起き・朝ごはんの取り組みの推進とありますが、今、どれくらいの子どもが朝ごはんを取っていないのか、近々の情報はありますか。このように家庭との連携で推進啓発と出ていますが、学校にすべてお任せなのか、例えば、朝ごはんの大切さなどのプリントを各家庭に配布するとか、何らかの方法を考えられているのか教えていただきたいと思います。それから、授業参観の充実のところで、学校・保護者双方が真剣勝負をすると書かれていますが、具体的にはどのような内容か教えていただきたいと思います。

黒島 室長

早ね・早起き・朝ごはんの取り組みについて、食育に関するアンケート、学力・学習状況調査の結果や体力・運動習慣等調査の結果からも、90%以上は朝食を摂取しているのですが、100%に満たないという現状でございますので、対策としましては、エリア・ファミリーが連携する中で、保育所や幼稚園、学童も含めた啓発の取り組み、教育委員会の中では食育検討委員会を設置しており、その中で朝食の大切さや子どもたちが簡単に作ることができるメニューの紹介をするなど、給食センターからも食育に係わる啓発の資料を配布しながら、意識を高めていく取り組みをしてございます。2点目の授業参観の充実につきましては、学校・保護者双方が真剣勝負をするというと、語弊があるかもしれませんが、最近はまだ授業を見せるだけではなくて、教室の出入り口に具体的な授業内容や授業の視点を示し、授業後、授業がどうだったか感想をお聞きしながら、教諭が気づききれない部分など、保護者の思いなどもすくい上げて、授業改善するという意味で、先生方は真剣に授業づくりに取り組んでいるという説明でございました。

藤澤 委員

ありがとうございます。今はどうかわかりませんが、私の子どもがいた時は、授業参観にいらしても、中に入らない方も見受けられました。せっかく参観にいらしたなら、ぜひ、参観してほしいことも保護者の方に伝えていただきたいと思います。

嶋崎教育長

この真剣勝負という言葉は、誤解を招く恐れもあるというご意見の1つだと思います。先ほど、少し精査してホームページに載せるという話もありましたので、今のお話を受けて、少し考えてください。

村松 部長  
田中 委員

わかりました。

2点ほど質問します。8ページ、アクティブ・ラーニングについて出ていて思い出したのですが、昨年か一昨年の総合教育会議の時

に市長も積極的に進めていくというお話をされて、帯広の将来の教育を考える上で非常に重要だということだと思いました。ここに書かれている文章は、まだ若干抽象的ではありますが、今年、具体的にアクティブ・ラーニングを推進していく事例が小・中学校であれば教えていただきたいと思います。まだ、そこまで動いてなければ、方向性について具体的に広くお示しになってはいかかと思いました。もう1つ、藤澤委員が言われた、早ね・早起き・朝ごはんの件について、15、6年前でしたか、文部科学省の補助金を使わせていただいて、記憶に間違いがなければ、花園小といくつかの学校で、具体的なデータを取って、早ね・早起き・朝ごはんは非常に大きな関係を持っているということが言われていた気がします。その後も、毎年出されているものかどうか、データは取れるのであれば取った方がいいという気がします。私の記憶では10数年前は朝ごはんを食べないで来ている子が多かった気がします。今は90%ということであれば、かなり改善されたと思います。同時に食べてきていても、食べている内容の問題もありますし、全校となると難しいかもしれませんが、何かの折にどこかの学校にお願いするとか、事務的処理が多くなると怒られそうな気もしますが、調べてみてはどうかという気がします。早ね・早起きについても、遅くまで起きている子が多い気がしますので、せつかくこういう形で出されているのであれば、積極的に対応されてはどうかと思います。

村松 部長

2つのご質問について、まず、アクティブ・ラーニングの考え方について、帯広版と付いているのは帯広らしい教育の進め方とご理解いただければと思います。本来、アクティブ・ラーニングというのは、学校の教室内での学びの姿を文部科学省ではお示ししている学習スタイルのことです。今回、帯広版という形の具体的な様相は、この3行にお示ししてあるように、帯広では学校の教室内に留まらずに、学校外の様々な教育資源を活用した帯広らしい、子どもたちがいきいきと活動した学びの姿を帯広版アクティブ・ラーニングという言い方をしております。昨年度もそうですけれど、今年度、人・場所・時間という中で、アクティブ・ラーニングで活用できる、例えば、帯広市が行っている出前授業などを整理し、各学校へお知らせしております。手話講座、認知症サポーター講座など、他課が行っている帯広市の特徴のあるしくみを人とのつながりという視点から、学校が利用しながら、活動的な教育活動を進めるといって提供しております。総合的な学習の時間などを活用しながら、取り組んでいる学校が多くなっています。帯広版アクティブ・ラーニングについて、概念ではありますが、具体的な取り組みとして進んできており、これまでどおり開かれた学びを進めていきたいと考えております。2点目の子どもたちの早ね・早起き・朝ごはん

の件ですが、朝食の部分の調査につきましては、これまでも教育委員会で設置しております食育推進委員会で、3年置きに調査をしております。市の農政部でも、食育推進委員会がございまして、抽出ですけれども全市的な部分での取り組みをしております。加えて、全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の中でも朝食についての質問がございまして。こういったデータを整理しながら、毎年取り組みを進めているわけですけれども、各課の連携とデータの数値を整理していきながら、市P連と連携し、家庭での朝食の大切さについて、今後も働きかけをしていきたいと考えております。具体的には、食育推進委員会で作成しているリーフレットを保護者の皆さんに配布しております。給食の食材や帯広の食材を使った簡単なレシピ集や朝食の大切さを記載しながら、教育委員会としては保護者啓発を行っているところです。今後も家庭と連携して、基本的な生活習慣の啓発活動を続けていきたいと考えております。

田中 委員  
塩野谷委員

ありがとうございます。

最初に質問のありました啓西小学校を実践指定校とした学校力向上の取り組みが3年目ということでしたけれども、実際に学力向上の効果が表れて、そのやり方を普及させていくという形だと思うのですが、実際に学力が上がる効果はあったのでしょうか。もう1つ、運動について、小学5年生と中学2年生以外の全学年でも実施ということで、5年生は全国平均に近いけれど、中学2年生になると体力・運動能力が落ちているというデータだったと記憶しています。体力・運動能力の調査の仕方や環境条件の問題の確認も必要ですけれども、全国平均並みの体力になるような対策の基本的な考え方をお伺いしたいと思います。

黒島 室長

1点目の学校力向上に関する総合実践事業につきましては、全国学力・学習状況調査の結果の部分で申し上げますと、過日教育委員会会議でのご説明のとおり、数値は小も中も全国を下回る結果であります。一方で課題となる部分でも、具体的に今、どの教科領域とは申し上げられないのですが、向上が見られているのは事実であるということと併せて、学力向上に資するものという部分では、教職員の資質向上、指導力向上ということが挙げられます。学力向上を進めている取り組みの1つとして、若手、中堅も含めた一人一人の教職員の資質向上をいかに高めるかということになります。ノウハウ的な部分も含めた授業公開の中で研究会の開催については、若手教員、新卒が今年度も含めて非常に多くなってきている中、若手教員を中心としながら、指導力を向上させていき、それに相まって、指導する先生方も指導力を高めていかないことには指導できないという側面もございまして。啓西小学校を中心としながら、機運として帯広市全体に広まりつつあるというのが現在の状況でございます。

体力向上の部分につきましては、小学校は非常に良い結果である反面、中学校は今年度振るわなかったという実状でございます。体力・運動能力、運動習慣等調査につきましては、4月に実施するのと7月に実施するのでは、結果に差異が見られたり、実施場所の条件だったり、計測器具や指導者の進め方の差異などが結果にも係わってきている現状もございます。先ほどご説明いたしました1校1実践の取り組みや授業改善の部分も含めて、今年度、体力向上のプロジェクトチームの動きを全市的に取り組む中で、休み時間も含めた日常的な指導の取り組みとして根を張りながら、体力向上に資するものとして取り組みを現在計画しているところでございます。

塩野谷委員

最初の質問ですが、教職員のレベルが上がって成果が出ているということは、啓西小学校は、他の学校に比べると学力向上の成果が出ているのか。まだ、そこまでには至っていないのか、最終的には学力向上を目的に取り組んでいると思うのですが、どうでしょうか。今までは同レベルだったけれど、取り組んだことにより、啓西小学校の学力が向上し、その教え方を普及させていくという考え方でよろしいでしょうか。

村松 部長

啓西小学校で取り組んでいる学力向上の実践事業につきましては、先ほど室長からも話があったように、指導者の指導力を上げることと学級の中でルールをしっかりとすることが実際に学力も向上していくという視点から、授業の何分前には座って授業に向かう姿勢を作りましょうというルール作りが重点的に行われています。近隣の中学校にもそれを波及させ、小学校、中学校も同じスタイルでやるのが子どもたちの学力向上になるだろうということで、全国学力・学習状況調査の点数の部分ではないアンケート調査を見ると、子どもたちの意欲は上がってきています。子どもたちの学ぶ意欲という学力の一側面も上がってきていると考えております。それに加えて点数がぐっと上がると、効果があると証明できるのですが、全国と差が縮まってきているのは間違いがございませんので、全国平均を一層上回るような取り組みの継続性が今後必要ということで、この事業自体を市内の学校が一斉に集まって見る場面も設けております。学校のスタイルそのものを見ていくということで、啓西小学校を中心にした実践校の良さを市内全校に広めていきたいと考えております。

嶋崎教育長

報道機関もおられますので、具体的なお話ができない部分もございます。

塩野谷委員

わかりました。

佐々木委員

9ページの学校に期待すること、基礎・基本の定着の最後のところですが、夏冬休み、放課後、土曜日等の学習サポートについては、教職員に限った話でしょうか。それとも学習ボランティアの方々に

お願いし、充実させるという内容でしょうか。

黒島 室長

夏冬休み、放課後、土曜日等の学習サポートにつきましては、細かい部分で申し上げますと、夏冬休み、放課後につきましては、教職員や退職者の人材の特別加配を受けているケース、特に夏冬休みは畜大生を含めた学生のサポートを受けている実態がございます。土曜日については、生涯学習の視点で居場所的な取り組み活動が多く見られます。現在、土曜日に限っての学習サポートは行われていない状況でございます。

佐々木委員  
嶋崎教育長

ありがとうございます。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（3）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

福原調整監

学校教育部の5月の事業予定についてご説明いたします。議案書15ページでございます。各中学校の体育祭が5月27日に行われます。委員の皆様におかれましては、時間の許す限り生徒のがんばりを見ていただけますようお願いいたします。また、小学校につきましては、6月3日に予定しております。以上です。

森川調整監

続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定につきましてご説明させていただきます。はじめに生涯学習課では、帯広市民大学講座開講基調講演としまして、松下幸之助と観光立国論など2講座をご覧の日程で、とかちプラザで予定しております。次に16ページ、文化課では、市内の文化団体による、おびひろ市民芸術祭を5月2日から29日まで、市民文化ホールなどで予定をしております。次に図書館では、本日から始まりました、こどもの読書週間にちなみ、親子で行く！図書館の書庫探検ツアーなど関連事業を、ご覧の日程で開催する予定でございます。また、5月18日から24日までの特別整理期間、休館に先立ちまして、5月4日から17日まで貸出の拡大を予定しております。動物園では、一日飼育係を5月12日に中学生以上、19日に小学生4年から6年生を対象に実施を予定しております。次に、スポーツ振興室では、帯広市健康スポーツ推進委員会総会などの会議をご覧の日程で開催を予定しております。最後に記載漏れがございまして申し訳ございません。社会教育委員会会議を5月23日に、とかちプラザで予定しております。以上であります。

嶋崎教育長  
各委員  
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（4）寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

佐藤 課長

企画総務課の寄附についてご報告いたします。議案書は19ペー

ジでございます。2月22日に、地域ぐるみでこどもを応援する活動の推進のため、こども学校応援地域基金に市外在住の方より1件、2万1千円をご寄附いただいております。以上でございます。

村田 課長

学校教育課からご報告いたします。市外在住者の方から2件、現金で計2万5千円のご寄附をいただき、学校教育振興基金に積み立てる予定でございます。それから、第五中学校PTA様から、図書29冊、5万円相当をご寄附いただいております。以上です。

渡邊 課長

文化課よりご報告いたします。市外在住者の方から1件、おびひろ応援寄附金として、現金2万1千円を2月22日に受納しております。以上です。

前原 館長

図書館よりご報告いたします。議案書20ページでございます。1件目、市内法人から、絵本14冊、1万4,680円相当を移動図書館バスの児童図書充実のためとして、ご寄附いただいております。2件目、市内在住者の方から、児童図書1,153冊、284万1,453円相当を移動図書充実のためとして、ご寄附いただいております。3件目、国際ソロプチミスト帯広様から、オススメえほんリスト、10万円相当を読書活動充実のためとしてご寄附いただいております。4件目、市外在住者の方から、現金1万円を図書資料充実のためとしてご寄附いただいております。以上です。

柚原 園長

動物園からご報告いたします。市外在住者の方から、現金5件、総額77万6千円をご寄附いただいております。動物展示施設等の整備及び動物の購入に充てさせていただきます。以上です。

河瀬 主幹

スポーツ振興室よりご報告させていただきます。議案書21ページでございます。1件目、市外在住者の方から3月20日に現金1万5千円をおびひろ応援寄附金としてご寄附がございました。物品が2件、昨年2月に開催されました第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会から、帯広の森屋内スピードスケート場ゴール付近にカメラを固定する設置台を寄附していただいております。組織委員会が昨年12月をもちまして解散したことから残余財産として、寄附をいただいたものでございます。次に札幌北洋リース様より、帯広の森陸上競技場スタート信号発生装置一式をご寄附いただいております。平成25年から5年間リース契約していたものを、リース契約が終了したため、ご寄附いただいたものでございます。以上です。

嶋崎教育長  
各 委 員  
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局  
嶋崎教育長

ございません。

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、ご

各 委 員  
嶋崎教育長

質問等があれば、お受けいたします。

ありません。

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

これをもちまして、平成30年第7回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。